

本科 1 期 4 月度

解答

Z会東大進学教室

# 中3国語



出典：寺田寅彦『化け物の進化』／ 広島大学付属高校・改題

問1 (a) 〓 配置 (b) 〓 散布 (c) 〓 日常茶飯 (d) 〓 貴重

問2 神秘的な存在、不可思議な世界へのあこがれ〔19字〕(26～27行目)

問3 不可思議な世界へのあこがれが、科学への興味を助長したから。〔29字〕

問4 (エ)

問5 (イ)

問6 表面の諸相の奥に隠れた複雑な物があり、不可思議で誰にも本当のことが分からず、簡単には説明できるものではない〔53字〕

理解を深める

非常に不可思議で、だれにも本当にはわからないことを、きわめてわかりきった平凡なことのよう簡単に説明して、それ以上には疑問もないかのように安心させてしまうようなもの。〔83字〕



## 【添削課題】

## 解答

出典：清水義範『行儀よくしろ。』 / 関西学院高等部・改題

問1 a 〓微妙      b 〓臨      c 〓順当      d 〓応援      e 〓卑屈

問2 チームプレーでないため、自分のために闘うという発想の転換が容易だから。

問3 ・勝つ見込みはなく、ただ決勝で走れることを楽しむという場合。  
・極度の個人主義者で、自分が楽しむために走るという場合。

問4 (ア)

問5 チームや日本のために闘おうとする昔のスポーツマンも、自分が楽しむために闘うと宣言する今のスポーツマンも、自分への期待を過度に意識するという日本の精神文化が現れている点では同じだということ。

問6 むしろ私に(53行目)

## 理解を深める

かつての日本のスポーツマンは国を背負った悲壮感を漂わせ、なにわ節的なところがあったが、最近の新しいタイプのスポーツマンは明るく個人的に頑張ることを口にする。しかし彼らの多くが「楽しみたいと思います」と発言するのは、実は日本国民の期待や重圧を強く意識し、それを乗り越え、忘れようとする思いが現れているのではないか。人間の行動はその民族の文化の美の中にあり、そう簡単には変わるものではないのである。〔197字〕

出典：内山節『自由論―自然と人間のゆらぎの中で』／山形大学

問1 1 〓 時空      2 〓 太古      3 〓 喪失      4 〓 変革      5 〓 忘却

問2 自然にとっての自由は、永遠不変の世界で自在に存在し続ける状態であるのに対し、人間にとっての自由は、進歩や発達によってすべてを変えられる可能性がある状態だという違い。

問3 自由は、人間社会にとって不可欠だというイデオロギーになり、人間の行動を支えているという点で、進歩や発達と同じである。

問4 (ウ)

問5 永遠の世界の持続を理想とする自然に対して、人間はすべてを変えようとする。イデオロギーを持つ人間は、知性によって自然という他者を捉えようとし、その関係を変えようとするので、自然の一員とはいえない。したがって、自然と人間の共生は困難であるといえる。〔121字〕





会員番号	
------	--

氏名	
----	--